



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：カンディール内閣の改造(第3次カンディール内閣)

5月7日、カンディール首相は、9名の閣僚交代をとまなう内閣改造を発表した。今回の内閣改造は、野党からの内閣改造要求、ムスリム同胞団と司法府との対立を反映したものと考えられる。議会問題担当相と法相の2ポストは、それぞれ前任者辞任にとまなう任命である。

注目点は2つで、第1に、ムスリム同胞団や自由公正党（FJP）政権に近い人物が5名入閣したことである。スレイマーン新法相は、野党から辞任要求を突きつけられているタラアト・アブドッラー検事総長を支持しており、アラー・アブドルアジーズ新文化相も、野党の大統領批判に批判的な人物である。投資相、計画・国際協力相、農相の3名はムスリム同胞団員で、FJP幹部でもある。第2の注目点は、IMFとの融資交渉が続くなかで経済系の3ポストが入れ替わったことである。内閣報道官は、IMF交渉を担当する3大臣の変更は交渉に影響を及ぼさないと述べた。3大臣変更の背景には、ムスリム同胞団／FJPがIMF交渉をどうにか合意に持ち込みたい思いがあると考えられる。

【第3次カンディール内閣の新閣僚（9名）】

財務相	ファイヤード・アブドルムナィム	
議会問題担当相	ハーティム・バガートー	
法相	アフマド・スレイマーン	タラアト・アブドッラー検事総長を支持
投資相	ヤヒヤー・ハーミド	大統領選挙運動でムルスィー陣営報道官
計画・国際協力相	アムル・ダッラーグ	ムスリム同胞団政治局委員；自由公正党外交委員会委員長
文化相	アラー・アブドルアジーズ・アブドルファッターハ	野党による大統領批判に批判的
農相	アフマド・ギザーウィー	自由公正党農業委員会委員長
石油相	シャリーフ・ハダーラ	
考古学相	アフマド・イーサー	

(金谷研究員)